

名称		説明
や	有害物質 (大気汚染)	大気汚染防止法で定めるばい煙のうち、物の燃焼、合成、分解、その他の処理に伴い発生する物質で、カドミウム及びその化合物、塩素及び塩化水素、ふっ素、ふっ化水素及びふっ化ケイ素、鉛及びその化合物、窒素化合物の5つが規定されている。
	有機物	炭素や水素を構成要素とし、これに窒素、リン、硫黄等の原子が加わったりして形成されている化合物をいう
	有機リン化合物	有機リン系農薬(パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン、EPNの4種)を指し、現在はEPN以外は製造、使用が禁止されている。水質汚濁防止法では有機リンとして排水基準が設定されている。
	要請限度	市町村長は、自動車等から発生する騒音や道路交通振動がこの限度を超えて発生し、道路周辺の生活環境が、著しく損なわれると認めるときは、都道府県、公安委員会に道路交通法の規定による措置を要請することができる。また、道路管理者または関係行政機関に道路構造の改善等について意見を述べることも定められている。(騒音規制法、振動規制法)
ら	ライフサイクルアセスメント(LCA)	商品の環境に与える影響を、資源の採取、原材料への加工、商品の生産、運搬、消費、廃棄までも各過程ごとに評価し、より環境への負荷の小さい生産方法や代替燃料、代替製品を選択していこうとする考え方。
	ライフライン	都市の水道・電気・ガスなど、生活に必要不可欠な基幹エネルギーの供給システムのこと。
	リン(P)	肥料の三要素の一つで、動植物の増殖に欠かせない。窒素(N)とともに閉鎖性水域の富栄養化の目安となっている。
	レッドデータブック	環境の悪化、開発、採取などにより、絶滅のおそれのある生物種などをリストアップし、その生態や生育分布、絶滅の危険度をランク分けした本。環境省、県などから発行されている。
	六価クロム(Cr <sup>6+</sup> )	クロムの化合物の中でクロムが6価として働いている化合物のことをいう。強力な酸化剤として働くため、貴金属の洗浄、皮革製造やメッキに用いられる。3価クロムに比べて100倍も毒性が強く、皮膚に触れると、皮膚炎、潰瘍等を起こし、体内に入れば肝臓・腎臓障害、吸えば肺ガンを起こすとされている。